

インタビュー

個人

グループ

学級全体

メモ用紙
 バインダー
 デジカメ
 録音機

人に直接会って、知りたいことについて話をきく方法です。

利点

- ・専門的な立場の人の知識や経験、努力や工夫、苦労など、必要な情報を相手から直接得ることができます。

ポイント

- 目的をしっかりとちます。・・・何のためにインタビューをするのかをはっきりさせます。そのためにどのようなことをきけばよいのかを明らかにします。一問一答にならないようにします。子どもが自ら説明できるようにしておきます。

- インタビューをする相手を決めます。・・・だれにきくとよいのかを考えます。子どもが連絡する前に、インタビュー相手に連絡を取り、趣旨を伝え、事前に連絡調整を行っておきます。

○ インタビューの準備をする ○

1 インタビュー相手を決める

2 インタビューメモをつくる

- ききたいことを書き出して、インタビューメモをつくる。ことがらだけでなく、思い、気持ちもたずねる。なるべく「はい。」「いいえ。」で終わらない質問を考える。良い点⇄悪い点、うれしいこと⇄悲しいことの両面を聞く。

○下調べをしておく。

- ・相手に対する知識をもっておく。
何をしている人？ どんな考えをもっている？
どんなところがすごい？
- ・ききたいことについて予備知識をもっておく。

○役割を分担する。

- ・グループでインタビューをするときは、話をきく係、写真を撮る係、録音する係、メモをとる係などを決めておく。

3 インタビューを申し込む

- わざわざ時間をとって協力してくださることを意識して、ていねいな話し方をする。

- 1 自己紹介をする。
- 2 目的を言う。
- 3 相手の都合を聞いて日時を決める。
- 4 内容を言う。
- 5 写真を撮ったり、録音したりしてもよいかをたずねる。

4 インタビューの練習をする

- あいさつの仕方、声の大きさ、話す速さ、お礼の言い方など。

○ インタビューをする ○

1 あいさつ・自己紹介

2 インタビューの目的を伝える

3 インタビューメモをもとに、きく

○話をしてくださっている人の顔を見てきく。

○メモをとる。

大事なこと

忘れてはいけないこと

箇条書き

数字・大事な言葉・名前・キーワード

○もっと知りたいこと、分からないことは、話の区切りで質問する。

4 お礼を言う

○ていねいにお礼を言う。

○話を聞いて、なるほどと思ったこと、興味をもったことなどの感想も付け加える。

豆知識 ②

インタビューは、学習指導要領の国語、第3学年及び第4学年の「A 話すこと・聞くこと」の言語活動例（ア）に挙げられています。

どの教科書会社の教科書にも、第3学年か第4学年のどちらかで、インタビューについての学習が扱われています。光村図書出版株式会社の国語の教科書では、「三上 わかば」の「5話し合って決めよう」に、インタビューについて書かれています。参考にしてください。

インタビューするときは、事前に指導者がインタビューに答えてくださる相手にアポイントメントをとって、お願いしておくといいでしょう。

